

労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄美ら海水族館	対象年度	令和2年度
指定管理者名	一般財団法人 沖縄美ら島財団		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所には○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																									
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職(解雇の事由を含む。)については、書面を交付しなければなりません[労働基準法(以下「法」といいます。)]第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																					
	1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p>2 就業規則 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。)等、労働条件の具体的細目を定めた規則)を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者(パートタイム労働者を含む。)を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません(法第89条) また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません(法第106条)</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																								
	1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません(法第35条)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">週休2日制</th> <th colspan="2">週休1日制</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>完全(毎週)</th> <th>月3回</th> <th>隔週</th> <th>月1～2回</th> <th>週1日</th> <th>4週4日</th> <th>4週3日以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>						週休2日制			週休1日制		その他	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	1	2	3	4	5	6	7
週休2日制			週休1日制		その他																					
完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																				
1	2	3	4	5	6	7																				
(7については、改善が必要です)																										

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

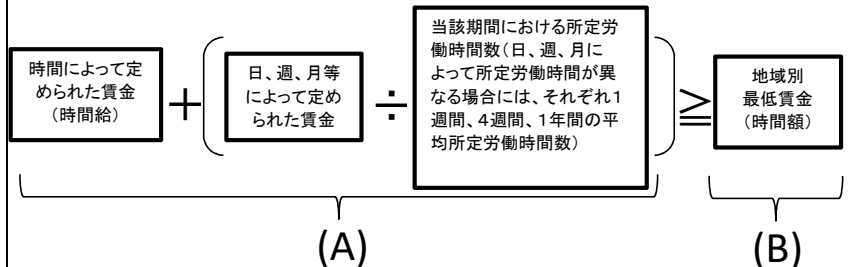
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	308	308	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	雇用される労働者は全て加入している

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成31年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

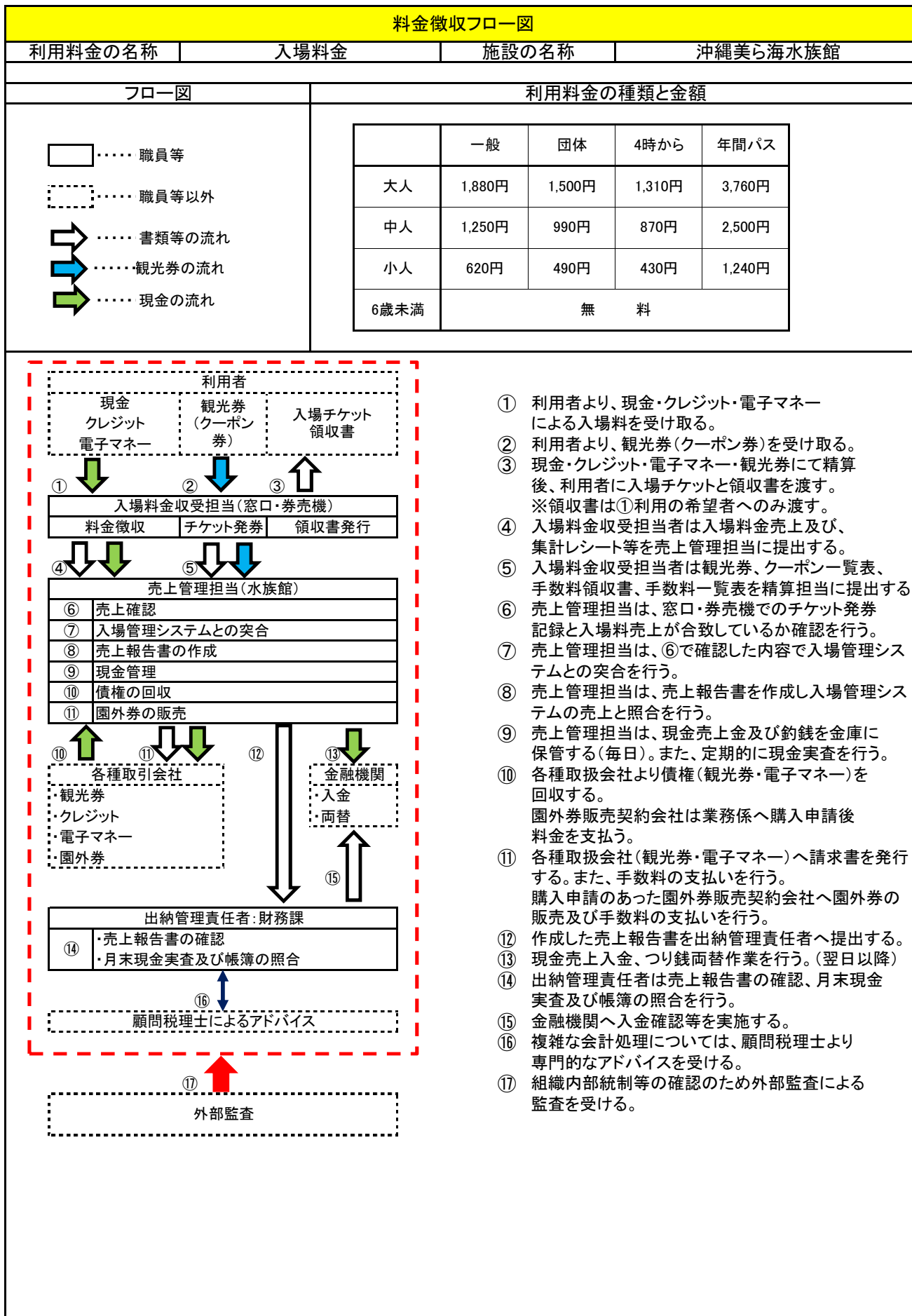
9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	308	298	10	298	10

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入要件を満たしている方は全て加入としている

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていない方は未加入としている

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成31年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。



指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県国営沖縄記念公園内施設 (海洋博覧会地区内施設)	対象年度	令和2年度
------	--------------------------------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認	
1.	維持管理業務	1
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 飼育展示 <ul style="list-style-type: none"> 1) 水族館内 2) 海獣施設 (2) 生物等管理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 水族館内 2) 海獣施設 (3) 施設維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 維持修繕・保守点検 2) 清掃 3) 植物管理 (4) 大規模修繕 (5) 利用者案内・警備 (6) 防犯・防災対策 <ul style="list-style-type: none"> 1) 事故・災害防止 2) 安全点検 (7) 料金收受 (8) 備品購入 	
2.	運營業務	12
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 利用実績 <ul style="list-style-type: none"> 1) 利用者数等 2) 施設稼働率 3) 教室(普及啓発)・イベント等参加者数 (2) 運営企画 (3) 調査研究 (4) 飲食・売店営業 <ul style="list-style-type: none"> 1) 飲食施設等 2) 物販施設等 3) 自動販売機及びコインロッカー 4) 記念写真の撮影販売 5) 展示生物とのふれあい体験 (5) 広報・誘客 (6) 受付・接客 (7) 情報管理 	
3.	自主事業	22
II.	サービスの質の評価	26
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 維持管理業務 2. 運營業務 3. 自主事業 4. 総合評価 	
III.	サービスの安定性評価(財務状況)	29
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業収支 <ul style="list-style-type: none"> (1) 収入 (2) 支出 2. 経営分析指標 	
IV.	総合評価	32
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 目標 2. 評価結果 	

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県国営沖縄記念公園内施設(海洋博覧会地区内施設)	対象年度	令和2年度
指定管理者	一般財団法人 沖縄美ら島財団 指定期間:平成31年2月～平成35年1月	所管課	土木建築部 都市公園課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1)飼育展示

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>1) 水族館内 本施設のメインテーマである「沖縄の海との出会い」を基本に、「南西諸島・黒潮の海」の多様な生物の生態を正しく理解し、来館者が学習・体験できる展示構成とする。また、熱帯の華やかさと黒潮の躍動感に育まれた沖縄の海的美しさを展開することを目的として、世界規模の大型水槽を中心とした大型貴重種の飼育展示を行う。</p> <p>更に、繁殖による効果の高い展示、解説等による情報伝達を行い、動物倫理にも十分考慮した生物と親しむ教育プログラムとして提供することで、環境学習の場として利活用し、利用者の満足度向上及び利用促進に努める。</p>	○		<p>南西諸島の海洋生物を中心として約720種、11,000点の展示を行った。「黒潮の海」大水槽では、世界唯一となるオニイトマキエイやヒメイトマキエイの展示を行ったほか、世界最大の大きさを誇るジンベエザメやナンヨウマンタの複数展示を行った。「深層の海」では、世界初となるキマダラヒメやズナガアカボウ等の魚類やミナミオーストンガニ等の無脊椎動物を展示した。また、アカタマガシラやアダヒメオコゼ等の新種や稀種の学術的報告に合わせた展示を実施した。</p>	<p>・展示施設の目視確認を行なった。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>世界初や唯一の展示など、積極的な生物の導入を継続し、新規展示が実施できている。次年度も感染症などの動向を見ながら、利用者に沖縄の海の生物多様性や生態等を学習・体験できる企画や展示の機会を提供する。</p>
<p>2) 海獣施設 海洋生物の特性・能力といった生態に関することを学び、体感できるとともに、生態保護・繁殖等の海洋環境への理解を深めてもらうことを目的として、海生哺乳類、ウミガメ類及びメキシコ政府より寄贈され、飼育・繁殖を行っているマナティーの飼育展示を行う。</p> <p>更に、繁殖による効果の高い展示、解説等による情報伝達を行い、動物倫理にも十分考慮した生物と親しむ教育プログラムとして提供することで、環境学習の場として利活用し、利用者の満足度向上及び利用促進に努める。</p>	○		<p>海獣施設では観客数の制限等の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上でイルカショーを実施したほか、イルカ、マナティー及びウミガメ給餌体験を実施した(総参加者数:45,326人)。入館者数に対する体験プログラム参加者数の割合は7.5%(前年度1.8%)で大幅に増加した。マナティー館では、改修工事のため4月から12月にかけて休館し、休館中はオキちゃん劇場でマナティーの飼育を行った。ウミガメ館ではアカウミガメ、アオウミガメ及びタイマイの同季繁殖に成功し、生まれた子ガメを活用し近隣の小学校と連携した環境教育プログラムを実施した。オキちゃん劇場やイルカラグーンでは、1975年の沖縄国際海洋博覧会当時から飼育しているミナミバンドウイルカをはじめ国内で唯一繁殖に成功したオキゴンドウ(3才)を中心に鯨類の飼育展示を実施したほか、イルカと撮影ができるフォトサービスを開始した。</p>	<p>・月報及び日報で、実施回数や参加人数等の記録を確認した。</p> <p>・マナティー館の改修工事の状況について年度報告書、ヒアリング、現地確認により確認した。</p> <p>・利用者の満足度については、現場の反応も良く、アンケート等でも高い評価をいただいている。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>すべての飼育動物において健康管理に努め、良好な飼育展示を実施できている。</p>

(2)生物等管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1) 水族館内 飼育生物の適切な飼育、繁殖を実施するために、動物の健康状態を十分に把握し健康管理に努めるとともに、常に良好な状態で飼育、育成、繁殖等を行う。また、安定的な生物展示のため、計画的な補充に努め、自然界からの捕獲収集は最小限にとどめるため、希少種、水産資源重要種等の飼育下繁殖に努める。	○		飼育生物の健康に十分配慮し、飼育環境の維持に努め、良好な飼育ができた。特にジンベエザメ等の大型板鰐類については、定期的に超音波画像診断、採血や計測により、健康状態の維持に努めた。また、展示の質の維持および向上のため、漁業者と連携し、計画的な補充に努めたと同時に、コバンアジやナカモイトロワケハゼ等の魚類、ハタゴイソギンチャクやコブシメ等の無脊椎動物の繁殖を成功させ、今後の展示に備えた。	・飼育日誌、月報を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	良好に実施できている。飼育生物の健康状態を把握し、飼育展示を実施できている。また、2015年に繁殖したデイゴハナガサクラゲ、2020年繁殖したコバンアジとハタゴイソギンチャクについて、初繁殖認定申請(繁殖賞申請)を行った(現在審議中)。
2) 海獣施設 飼育生物の適切な飼育、繁殖を実施するために、動物の健康状態を十分に把握し健康管理に努めるとともに、常に良好な状態で飼育、育成、繁殖等を行う。また、安定的な生物展示のため、計画的な補充に努め、自然界からの捕獲収集は最小限にとどめるため、希少種、水産資源重要種等の飼育下繁殖に努める。	○		飼育生物の血液検査や体重測定等を定期的実施し、良好な飼育ができた。イルカの人工授精技術の習得に向けて、バンドウイルカにおいて人工授精を実施したほか、国内で事例の少ないオキゴンドウや20年ぶりとなるマナティーの妊娠を確認し、エコー検査等により胎児の成長等のモニタリングを行った。ウミガメ類においては、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの繁殖に成功し、生まれた子ガメの育成を適正に行った。	・飼育日誌を確認した。 ・主要事例として、飼育海獣に関するモニタリングの状況を電子カルテを用いて確認した。 ・マナティーの妊娠、イルカの人工授精、ウミガメの繁殖についてヒアリングで確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	すべての飼育動物において健康管理に努め、良好な飼育展示を実施できている。各種の繁殖についても計画通りに実施できている。

(3) 施設維持管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1) 維持修繕・保守点検 建物、園路広場、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行うとともに、省エネ製品の導入や省エネ活動により、総電気量の削減に努める。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を行う。施設の安全を確保するよう管理を確実にし、国事務所が実施する公園整備(新規・改修)工事および及び公園調査等の協力、立会い等を行う。	○	○	<p>【運転監視】 ・中央監視盤にて、飼育設備、デマンド及び空気調和設備等の監視を行う等、日々の安全運転を確保した。また開場に向けて、照明点灯や空調機・昇降機等の稼働等を点検した。 ・飼育設備等、夜間の機器運転監視や不測の事態への対応のため監視員の配置を行った。 ・水族館内の巡視により館内が常に良好な状態を保つよう努めた。また必要に応じて空気環境測定等を行い、空気調和設備運転員との連携を図り良好な環境を維持した。</p> <p>【建物・設備・工作物点検及び修繕】 建物及び工作物等が常に安全で良好な状態を保つよう、巡視又は定期点検(法令点検含む)を行い、不具合の発見や発生があった場合には個所の修繕を迅速、かつ適切に行った。特に水族館エレベーター3号機(水上観覧)の故障による利用中止については、原因調査を徹底的に行い油タンク内サクシオン(吸込み)フィルターの内部劣化と特定し、当該機含め他の油圧式エレベーター2基についても、取替を実施、以降は良好に運行している。</p> <p>【水槽の保守】 アクリルの傷や劣化、歪み等について、巡視等による点検を行った。水槽や建物躯体からの水漏れについて、巡視等による点検を行った。「黒潮の海」水槽メインパネルの水槽内擦り傷について、魚類課により簡易研磨を実施した。</p> <p>【水質管理】 ろ過循環量調整・海水補給量調整を行い、ポンプの台数運転及びバルブ操作を実施した。また、ろ過器の逆洗運転・「黒潮の海」給餌後の水槽内濁り復旧のため、海水補給水ポンプを運転した。</p> <p>【点検記録の作成保管】 建物及び工作物等が常に安全で良好な状態にあるよう、巡視又は定期点検を行った。不具合等の発見や発生があった場合には、当該個所の修繕を迅速かつ適切に行った。</p>	<p>・設備日報、月報及びヒアリングで確認した。 ・エレベーター内での閉じ込めについて月報(2-①特記1)及びヒアリングにより確認した。 ・黒潮の海水槽メインパネルの水槽内擦り傷の簡易研磨について年度報告書及びヒアリング、現地で確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。特に水族館エレベーター3号機の故障については、原因調査を徹底的に行い原因の特定と、当該機含め他の同型機2基についても、取替を実施し、以降は良好に運行している。</p>

<p>2) 清掃 常に清潔を保ち快適な環境を保持するため、建物清掃(建築物ねずみ昆虫等防除作業等の法令作業含む)及び植栽地等清掃は、年間清掃実施計画(建物、植栽地)及び実施工程表にもとづき実施する。実施にあたっては、利用頻度等を考慮し、運営上必要な臨時清掃や特別清掃を行う。 更に、園路の塵芥、空き缶及び土砂等の除去、雨水等による汚れを掃除し、必要に応じて水洗浄を行う。また、館内等混雑時、イベント時、荒天時及び感染症対策等にも迅速に対応できる体制を確保し、運営に支障がないよう清掃等を行う。</p>	<p>○ ○</p>	<p>【日常清掃】 場所・部位別に防塵、掃き掃除、拭き掃除、ゴミの収集や衛生消耗品の補充や管理等の日常的な作業を行い、汚れの除去を行った。</p> <p>【日常巡回清掃】 開場中において場所・部位別に防塵、掃き掃除、拭き掃除、ゴミの収集や衛生消耗品の補充や管理等を日常清掃後に巡回しながら行い、汚れの除去を行った。その他、感染症対策等として、手摺の除塵と消毒、手指消毒液の残量確認と補充・取替え、汚物処理の適宜対応と適正処理、アクリルガラスの部分拭きを行った。新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、手摺等の消毒強化を実施した。</p> <p>【定期清掃】 場所・部位別に、週、月又は年単位の周期で定期的に行う清掃を実施した。</p> <p>【塵芥回収】 施設内のゴミ集積所の塵芥を回収し、本部町今帰仁村清掃施設組合が指定する方法で分別したのち、本部町今帰仁村清掃施設組合まで運搬・持込みし処理した。</p> <p>【臨時清掃】 上記に含まれない臨時の清掃として、館内の壁や天井の埃落しを行った。</p> <p>【ねずみ等の防除(予防と駆除)】 食品等を扱う区域、排水槽、阻集器および廃棄物の保管設備の周辺等特にねずみ等が発生しやすい箇所の、生息状況の調査実施を行った。</p> <p>【植栽地等清掃】 公園利用者の利用頻度の高い箇所について、園路は開園前の時間帯はプロア等を用い清掃した。芝地及び園地は塵芥、空き缶及び空瓶等を除去し、必要に応じて掃き掃除を実施した。 季節や荒天に左右される落葉や、時間帯や場所等、利用者の動向により左右されるゴミの発生状況を把握し、効率的な清掃を行った。 集積したゴミは適切に処理した。 落葉等の植物発生材はエコフレームに搬入し、景観的に影響が少ないものは、植栽地内へ掃き込んだ。 園路広場及び側溝等の塵芥、空き缶、空瓶及び土砂等の除去及び雨水又は車輛等による園路広場の汚れを掃除した。併せて、園内のベンチ、テーブル、ゴミ箱及び灰皿等の掃除を行った。</p>	<p>・管理日誌、月報を確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。 管理体制を継続し、良好な状態を維持できている。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として手摺等の消毒を実施。今後もより重要となると考えられるため、対応を継続していくことが課題となる。</p>
--	------------	---	---	-----------------------------	--

<p>3) 植物管理業務 利用者の安全確保・緑陰形成・景観向上・開花時期等に十分に配慮し実施する。実施にあたっては年間植物管理計画にもとづき行う。</p>	○	○	<p>・月報及び日報で実施状況を確認した。 ・現地にて状況を目視確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。 適宜、枯損木を撤去することで、台風等の突風や豪雨などによる倒木の危険性を除去した。</p>
---	---	---	---	-----------------------------	--

(4) 大規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>本施設の建物、工作物、飼育・電気設備の構造及び状況を理解・把握し、計画立案から工事監理までを一元的に管理できる体制を整え、国の大規模修繕計画を踏まえ、別紙2のとおり策定した「大規模修繕計画」に従って実施する。</p> <p>①施設・設備の現況(劣化状況や改修履歴等)と機器耐用年数を基に優先度を検討し、更に利用者への影響が最小限になるよう実施年度を組換えて実施計画書を作成し県と協議を行い、実施する。</p> <p>②主要施設の工事内容と金額は県と協議を行い、決定し実施する。</p> <p>③利用者の利用や安全に影響がある工事について、安全確保策や施工効率化策を実施し、利用者の安全を確保しつつ、営業への影響を最小限とするよう対策を計画し、県と協議を行い、実施する。</p> <p>④大規模修繕工事設計工事対象に関わる設計業務として必須事項となる要件を踏まえ、大規模修繕にかかわる工事設計業務を行う。</p> <p>⑤実施体制や安全等を確保しつつ、国や県の工事・設計基準等を遵守しながら工事を適切に実施し、要求される施設の性能を確保する。</p> <p>⑥工事監理者を適切に決定し、工事監理業務を実施する。</p>	○	○	<p>県と協議を行い策定した大規模修繕計画に基づき以下のとおり、16件の工事を実施し、年度中に完了した。その他、劣化部品等の部分交換・取替え管理水準やサービス水準を維持向上させるために必要な、部分補修・部品交換等や施設の修繕を実施した。</p> <p>令和元年度 水族館エレベーター改修工事 令和元年度 非常用発電機点検修繕工事 令和元年度 水族館エスカレーター改修工事 令和元年度 水族館取水ろ過器ろ材修繕等工事 令和元年度 マナティール館・陸上蓄養施設水槽改修工事 令和元年度 水族館飼育ポンプ類更新工事 令和元年度 水族館淡水生物コーナー更新工事 令和元年度 非常用発電所中央監視制御システム改修工事 令和元年度 非常用発電所受変電設備改修工事 令和2年度 海獣飼育棟プレハブ用冷凍冷蔵ユニット更新工事 令和2年度 着水槽・ポンプ室取水ポンプ更新工事 令和2年度 マナティール館・陸上蓄養施設生物飼育設備改修工事 令和2年度 水族館黒潮水槽冷却装置設置工事 令和2年度 水族館空調機更新工事 令和2年度 水族館エスカレーター改修工事 令和2年度 水族館飼育用ポンプ類整備工事</p>	<p>・事業計画書、別紙2「大規模修繕修繕計画」及び報告書、現場写真ヒアリング等で実施を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>国や県の工事・設計基準等を遵守しながら工事を適切に実施し、要求される施設の性能を確保し良好に実施できている。</p> <p>令和3年以降においても、良好な公園施設を維持するため、計画に基づきながら、大規模修繕業務の実施が計画されている。</p>

(5)利用者案内・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①館内・屋外案内員の配置 子供や障害者等の弱者及び外国人を含めたすべての利用者が快適に楽しめるよう施設や接客など、教育を受けた案内員を配置し、接客にあたる。	○	○	<p>・年間を通して券売・改札・案内員・警備員を配置し、料金收受、案内業務、場内整理、警備・巡視、駐車車両の誘導を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休場(4/7～5/31、8/2～9/5)、台風による休場(9/6)のため、案内員の配置を減とする等、適正な配置を行った。また、1/12からは新型コロナウイルスの影響による入場者減に合わせ、効率的な配置を行った。</p> <p>●配置減 ・4月、5月、8月： 館内巡回A、館内巡回F、水族館出口、1階ロータリー周辺、オキちゃん劇場・黒潮エスカレーターA、館内外巡回D(土日祝日等)、誘導案内及びその他対応、その他施設案内 ・4月、5月、8月、1/12～3/21： 館内巡回B、館内巡回C、館内巡回E ・5月： マナティー館周辺・亀の浜、エスカレーター4階、イルカラゲーン、オキちゃん劇場・黒潮エスカレーターB ・5月、8月： エスカレーター1階3階 ・1/12～3/21： 館内増員A(土日祝日サーモグラフィ対応)</p>	<p>・日報及び案内員配置表を確認した。</p> <p>・ヒアリングにより館内の巡回案内を実施していることを確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施できている。</p> <p>・1月12日より新型コロナウイルス感染拡大に伴う国、県の緊急事態宣言等により、水族館の来館者が極端に減少したことから水族館の管理運営を継続するため、コスト削減と効率的な人員配置に取り組んだ</p>

<p>②駐車場運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な情報提供と誘導 <p>駐車場の満空情報を多様な利用者に対応した方法で提供する。過去データにもとづく、事故に対する注意喚起を実施する。駐車場に警備員を配置し、安全な入庫誘導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 混雑時対応 <p>混雑が予想される際は、警備員の増員等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応 <p>駐車場内での事故発生時には、救護や誘導等人命を最優先とした適切な対応を行う。</p>	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の満空情報をカーナビ等(vics)等へリアルタイムで提供した。 駐車場各所に警備員を配置し、警備、誘導を実施した。 土日の混雑が予想される日において警備員の増員を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言に基づく休業期間(4/7~5/31、8/2~9/5)は配置人員を減員とした。 平日13名、土日祝15名 4/7~5/31:5~6名配置 8/2~9/5:5~7名配置 10/1~1/21:平日14名、土日祝16名配置 1/22~2/7は北駐車場を閉鎖による減員(3名配置) 2/8~2/26は北駐車場閉鎖による減員(4名配置) 2/27~3/31は北駐車場1階、2階利用再開により、11名配置 ※北ゲート歩道用は通行可 事故発生については、自損事故(車両同士の対物事故)等。 R2年度 事故処理件数(10件) 人身事故、施設破損等はなし。 	<ul style="list-style-type: none"> 月報(別紙2-③警備・駐車場運営業務報告)において実施状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好に実施できている 水族館内滞留者数が注意体制(滞留者800名)になった時点で北駐車場を封鎖し、他の公園駐車場へ分散し、感染防止と混雑緩和に努めた。
--	-----	---	---	--	--

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1) 事故・災害防止 防犯・防災については、国営沖縄記念公園防犯計画等(危機管理マニュアル)に基づき、事件・事故・自然災害等予防の取組みを行う。 ・施設の使用状況を監視モニター及び入場者管理システムを活用し適宜把握する。館内滞留者数が約2,000名を越えた時点で「注意体制」、約2,500名を越えた時点で「入場規制」を実施する。 ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせ、上記「入場規制」の滞留者数は、3密対策を考慮した人数で設定し、規制実施数の約8割を超えて時点で「注意体制」とする。 ・事故や災害が発生した場合は、体制を確立し、迅速かつ的確に情報を伝達、利用者の安全確保、避難誘導等を行う。負傷者が発生した場合は、迅速にその救済・保護の処置をとり、本施設設備に瑕疵があった場合は速やかに県に報告する。	○	○	●事故・災害防止 ・監視モニター及び入場者管理システムを活用し、施設の利用状況を適宜把握した。 ・館内の密集する箇所には、自動音声センサーを設置し、密集回避に努めた。 ・新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを感染状況に合わせ、3密対策を考慮し、滞留者数が800名を超えた時点で「注意体制」とし、1,250名で「入場規制」とした。 ・注意体制で北駐車場を封鎖し、他の公園駐車場へ分散。また、蛇行入場で入場者数を緩やかにし、館内滞留者に注視しながら入場規制を実施した。 ・「危機管理マニュアル」に基づき実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、救護室の利用を中止。 救護対応マニュアルを策定し、軽微な怪我の処置でも絆創膏を手渡すなど接触を避けた対応とした。また体調不良者には近隣の医療機関案内図を配布するなど適切に対応した。 ・負傷者が発生した場合は、迅速にその救済・保護の処置をとり、救急車要請があった場合は速やかに沖縄県に報告した。 事故件数:1件 救急車要請1件 救護件数:43件	・月報及びヒアリングにより確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	良好に実施できている。
			●消防訓練等 定期的に水族館職員に対し災害対策訓練を実施した。 ・5/20 熱中症講習会 ・5/18～6/22 消防部分訓練 ・6/22 情報伝達訓練(安否確認) ・7/13,20,27 普通救命講習会 ・11/2～12/7日 普通救命講習会 ・11/24～11/30 初期行動講習会 ・12/2～12/3 エレベータ停止時の閉じ込め者救出訓練 ・12/2 消防車両による園内ルート確認、各施設消防設備現地確認 ・2/16 夜間消火活動訓練	・月報及び実施報告書、ヒアリングにより確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	良好に実施できている。今後も定期的に訓練や講習会を継続実施する。

<p>2)安全点検 法令に基づく点検に加え、自主的に管理する項目を定め施設の安全点検を下記の通り徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令や建築保全業務共通仕様書等にもとづき、設備機器の正常で良好な保全に努める。 ・法令や建築保全業務共通仕様書等に定めのない設備機器等については、自主管理(点検要領)を定め正常で良好な機器保全に努める。 ・消防法にもとづき点検等を実施する。 ・運営管理を遂行するにあたっては、関係する法令等の内容を理解し遵守するとともに、法令等にもとづき、要求される点検や資格を特定の上、有資格者による点検を実施する。 	○	○	<p>法令に基づく点検に加え、自主的に管理する項目を定め施設の安全点検を下記の通り徹底して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築保全業務共通仕様書等にもとづき、設備機器の正常で良好な保全に努めた。 ・法令や建築保全業務共通仕様書等に定めのない設備機器等については、自主管理(点検要領)を定め正常で良好な機器保全に努めた。 ・消防法にもとづき点検等を実施した。 ・運営管理を遂行するにあたっては、関係する法令等の内容を理解し遵守するとともに、法令等にもとづき、要求される点検や資格を特定の上、有資格者による点検を実施した。 	・月報により確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	・良好に実施できている。
---	---	---	---	-------------	----------------------	--------------

(7)料金収受

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>・沖縄県国営沖縄記念公園内施設の設置及び管理に関する条例10条第4項に基づき、沖美ら財第28号で申請後、土公第271号にて承認を受けた内容で実施する。</p> <p>・適切な経理管理</p>	○		<p>・法令、条例、定款及び会計規則に基づき適切に利用料金の徴収及び管理を行った。</p> <p>・入場管理システムを運用し、チケット発券・入場者カウント・入場料売上を管理した。</p> <p>・観光券(クーポン・パウチャー)の実施要領等を定め、旅行会社との契約を締結し料金精算等を実施した。</p> <p>・年間パスポートの発行等、年間パスポートシステムの運用、料金精算、保有者特典の設定、更新等を行った。また、臨時休館に伴い有効期限の延長措置を実施した。</p> <p>・クレジットカード及び電子マネー契約による利用受入れ、料金精算(料金授受)、利用手数料の支払いを行った。</p> <p>・毎月2回の現金実査を行い、金庫内の現金管理に問題がないか確認作業を徹底して行った。</p>	<p>・ヒアリングにより確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施できている</p>

(8) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>必要に応じ、予算の範囲内で購入</p>	○		<p>支出:光熱水費・雑費等</p> <p>●トランスミッションカメラ、ポータブル電源、新淡水エリア水槽シンク、キャベリーナ電動スライサー他</p> <p>計:1,579,429円</p> <p>支出:公園管理</p> <p>●種子浮遊風洞装置製作</p> <p>計:150,600円</p> <p>合計:1,730,029円</p>	<p>備品台帳を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。備品台帳に登録し、使用にあたっては適切に保管・使用している。</p>

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

<p>1. 維持管理業務 取組改善案</p>	<p>・概ね良好に実施できている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施し、安全・安心を確保した維持管理が必要。</p>
----------------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	平成31年実績	事業計画 (目標値)	令和2年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者数	個人利用者数	2,676,741	-	565,154	21.1%	-	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下方修正したが、国の緊急事態宣言・沖縄県独自の緊急事態宣言・緊急特別対策等で、入場者数は計画値に達しなかった。 当該項目については、新型コロナウイルスの影響による外的要因が非常に大きかったと考えられる。 そのため、従来どおりの評価が困難なことから、評価を実施しないこととした。
	団体利用者数	643,277	-	37,349	5.8%	-	
	合計	3,320,018	720,000	602,503	18.1%	83.7%	
	教室・イベント参加者数(内数)	50,176	-	4,878	9.7%	-	

評価(①利用状況)

—

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

	平成31年実績	事業計画 (目標値)	令和2年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
平均稼働率	349日	363日	272日	77.9%	74.9%	・沖縄県の緊急事態宣言発出に伴う休業要請による合計90日間の臨時休場(4/7~5/31、8/2~9/5)、台風10号襲来による臨時休場(9/6)があり、事業計画に対しては74.9%にとどまった。 ・ただし上述の計90日間の臨時休場を除いた稼働率(計画比)は100%である。
平日・土日祝日別稼働率	平日232日 土日祝日117日	平日244日 土日祝日119日	平日185日 土日祝日87日	-	-	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

—

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

3) 教室(普及啓発)・イベント等参加者実績

	内容	平成31年実績	事業計画	令和2年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	【インタビュー学習】 県内外の学校や教育関連団体からの質疑応答に対応する。	【館内】11件136名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	【遠隔・メール対応】 23件242名	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響で来館できない学校団体からオンラインやメール等での依頼が増えた。引き続き県内外学校の利用増に向けた取り組む。
	【バックヤード見学】 水族館の裏側を見学し、飼育員の作業現場や水族館の設備について学ぶ。	69件2094名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	20件349名	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響で来館できない学校団体が増えキャンセルが相次いだ。感染拡大防止のため、受入人数を縮小(最大20名)し、感染対策を講じながら今後も実施する。
	【講師派遣】 水族館の役割や飼育員のお仕事、生き物について講話する。	【園外】4件316名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	【遠隔】9件661名 【園内】2件21名 【園外】10件375名 合計21件1,057名	-	-	県外の学校はオンラインで対応し、概ね良好。引き続き県内外学校の利用増に向けた取り組む。
	【生きもの観察プログラム】 生体や標本等を使い、生き物の生態について学ぶ。	【館外】20件4,039名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。 福祉関連施設、離島等での移動水族館の実施。	【遠隔】44件1,758名 【園内】10件436名 【園外】10件322名 合計64件2,516名	-	-	新型コロナウイルスの影響により、さらに外出制限がかかる院内学級や特別支援学校の生徒を対象にした、【遠隔授業】を新たに開発し提供した。次年度は別途プログラムとして立ち上げる。一つのことを皆で共有してしまう標本を用いたプログラムについては感染拡大防止のため受入を一時中止している。次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断をする。
	【触察プログラム】 県内外の視覚特別支援学校を対象に、生体や標本等を使い生き物の生態について学ぶ。	【館内】5件65名 【館外】8件128名 合計13件193名	視覚障害者への教育プログラムの開発及び実施	【館外】2件78名	-	-	県外の視覚特別支援学校からの依頼については、新型コロナウイルスの影響により全てキャンセルとなった。次年度は遠隔で実施できるよう調整する。
	【移動水族館】 水族館への来館が困難な方々(病院・福祉施設・離島等)を対象に、生き物を積んだ活魚車で訪問する。(7,8,1,2月を除く)	11件2142名	福祉関連施設、離島等での移動水族館の実施。	-	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラム中止。次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断をする。
	【ふれあい水族館】 地域のお祭り等に生き物を積んだ活魚車で訪問し、水族館のPRや海洋生物の知識普及啓発を実施する。(7,8,1,2月のみ)	8件3905名	環境関連展示会への出展	-	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラム中止。次年度も感染状況に応じて中止/実施の判断をする。
	【職場体験】 県内の小学高学年(ジョブシャドウ)、中・高校生に対し、飼育員のお仕事体験を通して、働くことに対しての関心や職域を広げる。	9件37名	職場体験及び学校行事等の教育普及に對しての協力及び指導。	7件30名	-	-	新型コロナウイルスの影響によりキャンセルが数件出たが、感染対策を講じながら実施できた。次年度も感染状況に応じて対応する。
	【飼育実習】 県内外の大学または専門学校において、水産または動物系を専攻している学生を受け入れ、飼育展示・解説業務等の実習を通し、実践的教育活動を提供する。	30件30名	飼育実習及び博物館実習の実施。	12件12名	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、一時受入を延期とした。再開時には、感染対策を講じ対応した。次年度も感染状況に応じ延期/実施の判断をする。
	【紙芝居読み聞かせ】 保育園や幼稚園を対象に、園内外で海の生き物を題材としたオリジナル紙芝居の読み聞かせやぬり絵を実施する。	【園外】7件377名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	【遠隔】3件45名	-	-	新型コロナウイルスの影響により依頼が減少。感染拡大防止のため、遠隔で実施できる施設に関して受入れた。次年度も感染状況に応じ、中止/実施を判断し、感染症対策を実施する。

	【映像貸出】 県内外の病院を対象に、展示生物の映像を貸し出し、癒し効果を与える。	【県内】6件 【県外】10件 合計16件	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	5件	-	-	周知強化を図り、今後も利用増を図ること。
	【サンゴの苗作り体験】 水族館で飼育しているサンゴを活用し、参加者に苗を作成してもらい。作成した苗は「サンゴの海」水槽に1年間展示する。また毎月HP上に苗の状態を報告し、繁殖・増殖への取り組みを広くPRする。	-	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	9組21名	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底のもと、受入れ人数を20名程度に限定して開催した。今後の開催についても、感染拡大状況に応じて、必要な対策を講じた上での実施を検討する。
	【ウミガメ放流会】 環境教育の一環としてウミガメの放流を実施し、来場者の環境保全に対する意識向上を図る。	【参加者数】 313名	R2年度 業務計画書（第1回変更）より削除のため、R2年度の実施なし	-	-	-	
	【ウミガメから学ぶ環境学習】 小中学校および教育委員会等と連携し、ウミガメとウミガメを取り巻く環境に関わる学習を実施し、環境保全意識の向上を図る。	【参加者数】 539名	海洋生物についての正しい知識と理解のための啓発。	【参加者数】 528名	98%	98%	今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施した上で、本部、崎本部、計2校が参加した。各学校や近隣砂浜において、事前学習やウミガメ産卵巣の観察を行った。飼育学習においては、児童たちの担当ウミガメの飼育体験を通して、ウミガメを取り巻く環境問題を身近な問題として印象付けることができた。合同発表会では、普及開発課が担当している緑風学園も加えて3校で実施すると同時に、発表内容をポスターに取りまとめ、ウミガメ館で展示を行ったことで、発表を行う学校・児童たちの学習効果に貢献したと思われる。
	【夜のイルカ観察ガイド】 冬のナイトアクアリウムの魅力作りや、夜間には観察できないイルカの生態を紹介し、来園者の満足度向上を図る。	【参加者数】 142名	R2年度 業務計画書（第1回変更）より削除のため、R2年度の実施なし	-	-	-	
イベント	【美ら海ナイトアクアリウム】 水槽に照明やエアレーションによる特別演出を行い、黒潮の海大水槽前において二人掛けエアソフナー及びビーズクッションを設置し、リラックスしながら水槽を観覧できる場所を提供する。また、期間中の土日祝日は、サクセスまたはバイオリン（楽器は演奏者により変更）による生演奏を実施する。 新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	R1.8.1～9.1 総入場者：401,676人 ※18時以降 19,679人（その他再入館 6,599人） 年パス申込み数 1,604人	【質の高い快適なサービスの取り組み】 屋間の混雑緩和のため、繁忙期等においてイベント（ナイトアクアリウム、ナイトアンサンブル等）を実施し入場者の分散化を図る。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせて実施を中止する。	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。
	【美ら海ナイトアクアリウム】 水槽に照明やエアレーションによる特別演出を行い、黒潮の海大水槽前において二人掛けエアソフナー及びビーズクッションを設置し、リラックスしながら水槽を観覧できる場所を提供する。また、期間中には、サクセスまたはバイオリン（楽器は演奏者により変更）による生演奏の実施、名桜大学吹奏楽部による生演奏など、各種イベントを実施する。水族館周辺においてイルミネーションの装飾を行う。 新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	R1.12.21～R2.1.5 R2.1.12～R2.2.28 総入場者：480,073人 ※18時以降 16,266人（その他再入館 2,846人） 年パス申込み数 2,299人	【質の高い快適なサービスの取り組み】 屋間の混雑緩和のため、繁忙期等においてイベント（ナイトアクアリウム、ナイトアンサンブル等）を実施し入場者の分散化を図る。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせて実施を中止する。	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。

<p>【美ら海中秋・秋夕特別プログラム 水族館外国語解説】</p> <p>沖縄美ら海水族館において、中秋節・秋夕期間中多く見られるアジア系入場者に対し、外国語での展示解説を行う。 ガイドツアー終了後、アンケート調査を実施しノベルティグッズをプレゼントする。</p>	<p>R1.9.11～9.15 参加者数:120名 国籍:韓国、中国、台湾</p>	<p>事業計画なし</p>	-	-	-
<p>【美ら海旧正月イベント】</p> <p>沖縄美ら海水族館において、旧正月期間中多く見られるアジア系入場者に対し、外国語での展示解説を行う。また、旧正月にあたる日は二胡による生演奏を実施する。 ガイドツアー終了後、アンケート調査を実施しノベルティグッズをプレゼントする。</p>	<p>【外国語解説ツアー】 R2.1.24～1.25(韓国語) R2.1.26～1.30(中国語) 参加者数:130名</p> <p>【二胡演奏会】 R2.1.25 参加者数:173名</p>	<p>事業計画なし</p>	-	-	-

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>【開場日数・運営日数】</p> <p>①沖縄美ら海水族館 ②カフェオーシャンブルー(飲食施設) ③レストランイノー(飲食施設) ④オキちゃんバーラー(飲食施設) ⑤ショップブルーマンタ(物販施設) ⑥オキちゃんショップ(物販施設) ⑦自動販売機 ⑧コインロッカー</p>	<p>4～3月 ①～⑧ 272日</p> <p>臨時休館93日 ・4/7～5/31、8/2～9/5: 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 ・9/6: 台風10号襲来 ・12/4,5: 施設点検</p>	<p>・売上報告書で、開場・運営日数を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館はあったものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できた。 ・国や沖縄県の方針に従って、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施したうえで、開場・運営した。 ・入場者数に応じて、また収支を勘案して、9月・3月は通常期で開場・運営した。</p>
<p>【開場時間・運営時間】</p> <p>①沖縄美ら海水族館 ②カフェオーシャンブルー(飲食施設) ③レストランイノー(飲食施設) ④オキちゃんバーラー(飲食施設) ⑤ショップブルーマンタ(物販施設) ⑥オキちゃんショップ(物販施設) ⑦自動販売機 ⑧コインロッカー</p>	<p>10～2月 ①⑤⑦⑧8:30～18:30 ②8:30～18:00 ③9:00～17:30 ④⑥9:30～17:30</p> <p>3～9月 ①⑤⑦⑧8:30～20:00 ②8:30～19:30 ③9:00～19:00 ④⑥9:30～18:30</p>	<p>・売上報告書で、開場・運営時間を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休場はあったものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	

(3) 調査研究

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>熱帯・亜熱帯性動植物の生態の解明、飼育・育成等管理技術の向上、生物多様性・種の保存のための研究、情報発信を行う。特に、希少生物や国際的保護動物等の調査研究と飼育技術開発を行い、国際的に貢献性の高い事業を積極的に推進する。事業遂行にあたっては、沖縄の生物多様性と、水族館施設の利点を最大限活用し、他の施設では実現困難な研究課題にも積極的に挑戦する。また、地域の水産業等に貢献する研究、他の研究機関と連携した研究により、様々な学術交流を提供する。</p>			<p>【ジンベエザメ調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期サイズ測定を継続中 ・ホルモンモニタリングを継続中 ・設置網入網個体への衛星タグ取り付け及び遊泳行動のモニタリング ・水槽内個体の行動特性モニタリング調査を実施 ・生息生理状態を反映する分子マーカーを概ね特定 ・オス個体の繁殖行動発現時のホルモン濃度を測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で実施状況を説明を受けて、状況を確認した。 ・研究については、年報に成果をまとめている。 ・期間中に発表された学術論文の表題等を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書の通り適切に実施されている。 	<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>多くの先進的研究成果を出しており、高く評価できる。世界をリードする研究が継続されることを期待する。</p>
			<p>【ナンヨウマンタ調査研究】</p> <p>飼育下繁殖に向けた個体の選別や飼育条件等を引き続き検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコー診断による消化や心拍の定期的モニタリング ・ナンヨウマンタ飼育マニュアルを完成。適正飼育のための基盤を整備 			<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>本研究に関連するコメントは特になし。</p>
			<p>【有藻性イシサンゴ類調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育サンゴの成熟状況を踏まえ、サンゴの採卵や幼生の飼育を行った。コロナウイルスの影響で観察会は実施できなかったものの、Webによる動画配信を実施。 ・エメラルドビーチへのサンゴ移植に向けた体制構築及び法規制等に関する情報整理を完了。 			<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>本研究に関連するコメントは特になし。</p>
			<p>【小型鯨類調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミナミバンドウイルカとバンドウイルカの精子凍結保存を開始。 ・飼育オキゴンドウの疾患、社会構造、コミュニケーションに関する調査を継続 ・自然繁殖で妊娠したオキゴンドウ1頭のエコーによるモニタリングの実施。 ・バンドウイルカ3頭に排卵同期を行い、内2頭に人工授精を実施。 			<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>イルカ類の人工授精による繁殖は、国内の水族館において急務なため、美ら海水族館においても技術確立と本技術を用いた継続的繁殖による飼育下個体群の維持を期待したい。</p>
			<p>【ウミガメ調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回遊経路等の調査のため、アカウミガメ、アオウミガメの標識漂流の実施。 ・タイマイ飼育下3世代目繁殖。 ・高知大学との適正な人工孵化条件に関する共同研究の実施。 ・飼育下ではアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの繁殖に成功 ・タイマイの人工授精を実施したが、受精には至らず。 ・精液保存技術の開発に向けて、精子活性を確保するために希釈液の調査を開始。 			<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>沖縄におけるウミガメの保全には十分貢献できている。アオウミガメの増加問題、アカウミガメの減少問題、さらにタイマイの餌である海綿との関係について研究を行っていただきたい。</p>
			<p>【深海性フエダイ類等調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふ化仔魚の初期餌料となるプランクトン(プロアレスマムシ、コペポダ)の安定培養を継続。 ・深海性フエダイの促熟・採卵を実施中。受精卵育成を試行。 ・漁獲物として得られたアカマンボウの生殖腺の状態の確認および水揚げ個体からの配偶子取得による人工授精に関する調査を展開中。 			<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】</p> <p>本研究に関連するコメントは特になし。</p>

<p>【淡水生希少魚類の飼育下繁殖】 ・琉球列島における希少淡水魚類であるリュウキュウアユやタナゴモドキの域外保全による野生復帰を推進するため、繁殖技術開発・飼育マニュアル作成。 ・ホルモン処理によるヒョウモンドジョウの促熟、採卵・採精を試行。</p>	<p>良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 本研究に関連するコメントは特になし。</p>
<p>【海洋博公園周辺海域の生態系調査】 ・サンゴ生態調査(種類や被度を把握し、生態系保全対策等へ活用) ・環境DNA調査による海域の生物相(魚類等)把握 ・琉球大学、本部漁協と共同で地先イノーにおけるオキナワモズクの消長要因に関する調査を開始</p>	<p>概ね良好に実施できたものの、本年度もサンゴ類に特化した研究者がいないため、研究レベルの底上げが課題となっている。 【外部評価委員コメント】 何が明らかになったのかの結果を求む。また、サンゴと魚類の関係については体系的なデータ取得を心掛けたい。</p>
<p>【南西諸島海域の海洋生態系調査および自然史資料の収集】 ・沖縄島北部の環境DNA観測点を全国観測ネットワークに追加。 ・水族館の深海魚採集に同行し、魚類相および分類に関する資料を収集(計6回)。 ・スタンディング調査に対応 ウミガメ:30回 鯨類:14回 ・水族館飼育の大型板鰐類のホルモン関連遺伝子に関する研究を継続中 ・本年度上半期では日本初記録種を含む約1100点の標本を新規登録し、外部研究機関等からの貸出依頼にも対応した。</p>	<p>良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 標本整理の完了、新種記載の成果、生物蛍光の研究を開始、環境DNA分野での進展、多くの研究論文など、高く評価できる。特に生物蛍光に関する研究は世界でも始まったばかりなので、今後に期待したい。</p>
<p>【沖縄周辺に來遊するザトウジラの出現状況、回遊状況調査】 ・尾びれの照合は引き続き継続中。自動化プログラムの開発にも着手。 ・本部町沖および慶良間諸島周辺におけるザトウジラ来遊状況調査を2～3月に20回実施。延べ230頭のザトウジラを確認。</p>	<p>良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 調査は良く行われており、飼育管理に役立つ情報も多く取得できている。野生鯨類のDNA情報の採取などを行えば、該当個体群の状態をより良く知ることができるだろう。</p>
<p>【内水面希少水生生物調査】 ・沖縄島産ヒョウモンドジョウの遺伝的特性に関する調査を実施。今後の保全に向けた貴重情報得 ・希少淡水魚のミナメダカおよびギンブナの海洋博公園内での生息域外保全の実行および脅威となる外来ウシガエルの駆除 ・不妊化オスを用いたテラピア駆除技術に関する研究を遂行中。 ・名護市の小学校2校において、希少淡水魚保全等に関する出前授業を実施。</p>	<p>良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 ヒョウモンドジョウは遺伝的な問題が解決されて、種としての認識があって様々な研究が始まるのであろう。遺伝的多様性の喪失というのは本当に喪失したのかどうか面白い。テラピアの不妊魚の放流は残念だったが、このような果敢な取り組みは今後も継続していくべき。</p>
<p>【地域と連携した水産資源、観光資源の利活用に関する技術開発】 ・ホエールウォッチング業者との連絡会議の開催 ・読谷及び国頭漁協の定置網漁獲物調査 ・水族館でのスマ等の採卵による養殖種苗生産の試行</p>	<p>良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 スマに関しては、目標が未達成であり、今後の継続研究で目標達成を期待する。養殖魚に関しては、目標をほぼ達成し、養殖の可能性を示唆できた。</p>

	<p>【飼育技術および新規展示生物の開発に関する調査研究】 ・加圧システムを用いて深海魚を環境適応させ展示に供した。 ・サメ胎仔を生存させるための人工子宮の開発。長期間の生存に成功。</p> <p>【海洋文化及び漁労文化等海と人とのかかわりについて調査研究と資料の収集】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調査を計画した6件のほか、予備的に文献調査を進めていた2件も中止となったため、現地調査ができなかった。 ・民俗事象の多くは非常時にこそ地域住民が特に重視する事柄が表面化することから、かかる事態について調査を行い、論文を執筆中。</p> <p>【国内外の水族館・研究機関との情報交流、共同研究、資料の収集】 ・ミナミバンドウイルカの人工授精に向けた香港オーシャンパークとの連携 ・ザトウクジラ調査におけるロシアとフィリピンの研究機関との連携 ・サンゴ、板鯨類、鯨類に関するシンポジウムを開催(魚類に関するシンポジウムは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・南ルイジアナ大学(ウミガメ繁殖生理学)、フロリダ大学(ダルマザメ調査)との共同研究を開始</p> <p>【調査研究・研究交流成果の発表と公園利用者への還元及び水族館の各種活動への応用】 ・学術論文45編が受理・掲載された。 ・ザトウクジラ特別展を水族館出口にて実施。 ・事業及び研究成果のHP公開</p> <p>【管理技術や魅力の向上に資する調査】 ・出口アンケートの結果を反映したホスピタリティーの充実 ・インクルーシブデザインの積極的登用 ・スマートフォンに適したHPデザインのリニューアル ・車椅子等の視点に立った安全面の整備</p>		<p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 新規海洋生物の飼育技術及び展示に関する成果を評価したい。論文やマスコミ等を通じた発信にも努力されており、国内水族館の模範にもなるであろう。域外保全としての飼育下繁殖と飼育下個体群維持への更なるフィードバックに期待する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業の中止を余儀なくされたが、代わる題材について臨機応変に対応した。</p> <p>【外部評価委員コメント】 全国的に毎年行われてきた祭礼が中止になり、沖縄でも同様であったのは、この種の活動にとって深刻であった。このような事態に対処することは文化・民俗研究の今後に極めて重要であり、全国の研究者が模索している。その点でウイルスの蔓延が沖縄の伝統文化に与えた影響についての論考を準備している点が評価される。(評価:B)</p> <p>良好に実施できている。</p> <p>本項目は各種研究事業にまたがっているため、外部評価委員会における個別の評価は行われていない。外部評価委員会では研究事業全体の成果説明の際に本件について紹介し、了承されている。</p> <p>良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 外国語対応のスタッフ配置やビクトサインの位置への配慮など、国内における他の水族館や動物園が十分に行えていない試みを高く評価する。(評価:S)</p>
--	---	--	--

(4) 飲食・売店営業

1) 飲食施設等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①沖繩らしさや利用者のニーズに合致した地元食材を使用した沖繩らしいメニューの提供。</p> <p>②メニューの多言語化海外からの利用者に対応したメニューの多言語化やピクトグラム等によるメニュー表の整備。</p> <p>③飲食施設の増設多客時において、美ら海プラザ屋上テラスやキッチンカー等による飲食販売。</p> <p>④環境保護への取り組み飲食施設で使用している使い捨てプラスチック製品を環境負荷の少ない代替品へ切り替え。</p> <p>⑤安全衛生管理等食品衛生法、消防法等の関係諸法令にもとづき、安全衛生管理計画及び緊急時連絡体制を定め法定点検及び自主点検を実施する。</p>	○		<p>①本部町のブランド豚肉「本部町あぐ〜」を使ったあぐ〜丼、あぐ〜カツカレーなどや県内外に人気の高いタコライス、沖繩そば等、県内食材を使用した沖繩料理等のメニュー提供を行った。</p> <p>②メニューの多言語化写真、番号等での表示、食材や調理方法、アレルギー情報等をピクトグラムで表示したほか、メニューの成分表についても他言語版を作成した。</p> <p>③美ら海プラザ前にてキッチンカー(1台)による飲食販売を実施した。美ら海プラザ屋上テラスでは多客時における営業を計画していたが、新型コロナウイルスの影響による利用者減で営業は行わなかった。</p> <p>④オキちゃんバーラー及びオーシャンブルーにおいては、環境負荷の少ない紙ストローを使用した。その他使い捨てプラスチック製品については、切替検討中。</p> <p>⑤食品衛生法、消防法等の関係諸法令にもとづき、安全衛生管理計画及び緊急時連絡体制を定め法定点検及び自主点検を実施した。また、食品衛生管理マニュアル、異物混入対応マニュアル、食品アレルギー対応マニュアル、食材等発注マニュアル、食中毒対応マニュアル等のマニュアルを定め、衛生管理に努めた。</p>	<p>①～④については月報及び現地で状況を確認した。</p> <p>⑤については、月報及び業務日報、衛生点検表を確認した</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている</p>	<p>美ら海プラザ内に飲食販売ブースが設置され、収益の確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休業や時短営業により減収となっている。今後、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、いかに集客し利益を確保できるかが課題となる。</p>

2) 物販施設等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①水族館展示生物に因んだオリジナル商品等の販売</p> <p>②電子マネーやクレジットカード決済等の提供</p> <p>③販売士等資格取得者による接客・販売</p> <p>④安全衛生管理及び品質管理</p> <p>⑤イベントや旅行商品等への参画による利用促進、サービス向上</p> <p>⑥環境保護への取り組みとしてプラスチック製商品袋を環境負荷の少ない代替品へ切り替える。</p>	○		<p>①展示生物(ジンバエ、マンタ等)に因んだオリジナル商品を中心に販売を行った。</p> <p>②電子マネー(Edy、WAON等)やクレジットカード決済のサービスを提供した。</p> <p>③販売士の資格取得者を配置し、豊富な商品知識やお客様に配慮した接客サービスを提供了。</p> <p>④販売環境の整備及び賞味期限の確認を行い、事故発生の防止と品質管理に努めた。</p> <p>⑤GOTOキャンペーンや旅行商品等への参画・協賛により利用促進、サービスの向上に努めた。</p> <p>⑥ショップブルーマンタでは令和2年12月からレジで販売しているプラスチック製商品袋を紙製商品袋に切替えを実施した。</p>	<p>①、②、④、⑤、⑥については、月報及びヒアリング、現地で確認した。</p> <p>③については資格取得者一覧表と日報により確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>ショップブルーマンタの美ら海プラザ内への移設、リニューアルにより収益の確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大対策による休業により減収となっている。今後、あらたに開設したオンラインショップ(ECサイト)での販売促進と実店舗では新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、いかに集客し利益を確保できるかが課題となる。</p>

3) 自動販売機及びコインロッカー等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者が安全かつ快適に利用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意し適切な管理を行う。	○		商品の賞味期限等にかかる品質管理については、四半期ごとに自動販売機設置業者と共同で目視によるチェックを行い、事故発生の未然防止に努めた。 設置台数 自動販売機:37台 コインロッカー:24口	・月報及び日報、販売記録等及びヒアリングにより状況を確認した。 ・「自販機賞味期限調査票」により、実施状況を確認した。	・業務計画書の通り適切に実施されている。	新型コロナウイルス感染拡大対策として、自動販売機に消毒液を設置するなど安全面、衛生面、機能面及び景観に留意しながら運営を行い、収益の確保に努めた。

4) 記念写真の撮影販売

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
水族館では展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行い、オリジナル台紙付の写真等を販売する。オキちゃん劇場では、夏休み期間や週末等に生物の健康管理に配慮しながら、新規に展示生物との記念写真撮影販売を実施する。	○		水族館では展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行い、オリジナル台紙付の写真の販売を行った。令和2年12月21日より、オキちゃん劇場周辺においてイルカと撮影ができるイルカフォトサービスを開始、記念写真撮影の販売を行った。	・月報及び日報(売上日計綴り)、ヒアリング及び現地確認した。	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。	美ら海プラザ内への移設が完了し、展示生物をモチーフとした模型セットで記念写真撮影を行い収益の確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大対策による休業により減収となっている。今後、あらたにサービスを開始したイルカフォトサービスも含め、新型コロナ感染防止対策を実施しながら、いかに集客し利益を確保できるかが課題となる。

5) 展示生物とのふれあい体験

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
有料体験プログラムとして、イルカ給餌体験、ウミガメ給餌体験、マナティ体験学習を実施する。	○		有料体験プログラムとして、イルカ給餌体験、ウミガメ給餌体験、マナティ体験学習のサービスを実施した。	・月報及び業務日報、ヒアリングで確認した。	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。	イルカ給餌体験、ウミガメ給餌体験、マナティ体験学習を実施し、お客様の反応は良好だった。今後、新型コロナ感染防止対策を実施しながら、いかに集客し利益を確保できるかが課題となる。

(5) 広報・誘客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用促進の為に開催事や広報宣伝の企画立案、実施を行い、利用者向け広報、メディア広報、地域広報等について、公共性や実施効果等に留意しながら、パンフレットや広告等様々な情報ツールを活用し効果的に実施する。また、ロケーション、資料貸出、海洋博公園において開催される各種行事、集客イベントへ積極的に協力し実施する。	○		<ul style="list-style-type: none"> お客様がーか所に集中しない様、分散化対策としてプログラムやイベントを中止した。 水族館HPやSNS(Facebook・YouTube)で生き物の紹介などを行った。 スマートフォンアプリ「美ら海アプリ」のお知らせ(プッシュ通知)を活用し、アプリケーション利用者に向け直接的な告知を行った。 また、美ら海アプリでは「美ら海フォトコンテスト」を開催。おうちからでも応募できるコンテンツを提供した。 水族館を楽しめるよう、YouTubeにて動画配信やライブ配信を行い、世界ユーザーへ水族館の宣伝を行った。 HPアクセス数:8,614,530件 美ら海アプリインストール数:22,610件 YouTubeチャンネル登録数:11,215人増加 YouTube視聴回数:537,552回増加	<ul style="list-style-type: none"> 月報及びヒアリングで確認した。 HP、SNS(Facebook、YouTube)で生き物の様子を配信したことを確認した。 アプリの運用状況をアプリで確認した。 	・業務計画書の通り適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、入場者数及び収入を確保するための施策や誘客を検討・実施 SNSなどインターネットを活用した告知やイベントの検討・実施。

(6) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
多様なサービスの提供 ・子供や障害者等の弱者及び外国人を含めたすべての利用者が快適に楽しめるよう施設や接客など、教育を受けた案内員を配置し、接客にあたる。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員ガイドブックを携帯し、海洋博公園の多施設及びプログラム案内・料金・利用時間等の基本情報の問合せに対応した。 ・外国人からの電話・メール等での問い合わせに対し、英語の他、多言語での対応を行った。 ・新型コロナウイルスの影響により、接客に関する資格取得は中止した。 ・P7立体駐車場においてベビーカー・車いすの無料貸出を行った。 ・スタッフミーティングを実施し、団体予約状況の確認及び繁忙時に備えスタッフの配置を強化する等、お客様に対する満足度の向上に努めた。 ・多言語対応の実施 <ol style="list-style-type: none"> ①パンフレット ②館内案内表示 ③外国語案内スタッフの配置 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、音声ガイドの貸出は中止とした。また、ベビーカー・車いすは台数を制限して貸出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングにより確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書の通り適切に実施されている 	良好に実施できている。

(7) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報を適正に保護するため、「個人情報の保護に関する法律」「沖縄県個人情報保護条例」等関連法令を遵守するとともに、「個人情報・特定個人情報取扱規程」を独自に定め、個人情報の漏洩、滅失、及び棄損の防止を徹底する。	○		<p>各種関連法令や当財団の個人情報・特定個人情報取扱規程を遵守した。各種申請書やアンケート、名簿など、鍵付き書庫での保管や、担当者以外ではアクセスできないよう、データ管理を適正に行った。R3年度実施のサーバクラウド化に向けてISO27001基準を満たすことを前提にサービス選定を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報・特定個人情報取扱規定」を確認するとともに、運用状況等についてヒアリングで確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書の通り適切に実施されている 	良好に実施できている。

3. 自主事業(公園関連事業・地域還元事業)

<p>・地域還元事業 【継続】 国内主要都市でのプロモーション</p> <p>国内主要都市におけるプロモーション事業や、「東京モノレール看板広告設置」、「JTAジンベージェット、ソラシドエアタイアップ等航空会社と連携した事業」等を、北部地域と連携して行う。</p>	○	<p>新型コロナウイルスの影響による国内主要都市におけるプロモーション事業中止により大型事業は未実施となったが、パンフレット・素材提供により対応可能事業へ協力を行った。ソラシドエア東京就航セレモニーやソラシドエアが出演するフェアへの素材提供等を実施した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策により、人員派遣等を見送り素材・物品提供等により実施した。</p>
<p>・地域還元事業 【継続】 フラワーロードの設置</p> <p>水族館・海洋博公園の周辺地域の道路に造形花壇等を設置し、周辺地域的美観向上、公園利用者の満足度向上に寄与する。</p>	○	<p>海洋博公園周辺地域的美観向上、公園利用者の満足度向上に寄与することを目的に、水族館・海洋博公園の周辺地域の道路に設置された立体造形花壇の維持管理を行った。 立体造形花壇の維持管理として、草花の入れ替えと灌水作業を行い、灌水作業の一部は、「H30-34 海洋博公園周辺道路環境美化整備業務」の一環として、本部町観光協会が実施した。また、台風襲来時には、花苗の保護・飛散防止のため、立体造形花壇を防風ネットで覆う台風対策を実施した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。</p>
<p>・地域還元事業 【継続】 那覇空港到着ロビー水槽の維持管理</p> <p>那覇空港1階到着ロビーに設置した水槽を活用し、水族館と関連する生物を展示すると共に海洋博公園の情報を発信する。</p>	○	<p>水族館等への誘客促進を目的に、那覇空港1階到着ロビーに設置した水槽(一部当財団資産)を活用し、水族館と関連する生物を展示すると共に海洋博公園の情報を発信した。 水槽設備について、毎日の巡回や各機械の検針、バルブ調整などを実施。定期的に設備の点検と適宜修理等のほか、海水補給とろ過器の逆洗を行い良好に維持管理ができた。また、空港の計画停電時(2/7)には設備の復旧状況を確認したほか、ろ過循環ポンプに振動があったため、予備のポンプと交換し運用に支障が出ないようにした。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。</p>
<p>・地域還元事業 【継続】 海洋博公園サマーフェスティバル2019(海洋博公園花火大会)</p> <p>沖縄県を代表する夏の一大イベントとして、海洋博公園・沖縄美ら海水族館の利用促進および本県、特に本島北部地域の観光振興等に寄与することを目的として実施する。</p>	○	<p>令和2年度の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>今後の新型コロナウイルス感染状況、国、県が示す新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する催物制限に係る留意事項等の情報収集を行い、次年度開催の可能性について検討を行う。</p>

<p>・地域還元事業 【継続】 海洋博公園美ら海花まつり</p> <p>冬期の公園の利用促進、沖縄観光への寄与を目的に、県内各所で開催される「花のカーニバル」と連携し、冬の沖縄の誘客促進の一翼を担う「海洋博公園美ら海花まつり」を国営公園管理業務受託者と連携して実施する。</p>	○	<p>令和3年1月23日(土)～3月31日(水)に実施、225,226人の入園があった。 海洋博公園の各所をバゴニア・マリーゴールド等の79品種約30万株の草花で装飾展示した。中央噴水広場周辺では、海の生き物などの花絵や模様花壇、ハンギングバスケット等を展示し、美ら海水族館や熱帯ドリームセンターに至る園路沿いを立体造形花壇やFRP造形物等を使用して草花で装飾した。今回のテーマを「四季の花散歩」とし、熱帯ドリームセンターをメイン会場として、チューリップやカンヒザクラ、ヒマワリ、コスモス、洋ランといった四季の花の展示を行った。開催期間を2月末までから3月末まで延長し、延長期間中のテーマを「美ら花散歩」として、コロナ禍でも花いっぱいの屋外空間で散策等を楽しんでいただいた。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中央噴水広場の花壇の距離を2～3m 間隔を空け、密にならないよう注意を促す掲示物や一方通行表示を行った上で実施した。 沖縄県緊急事態宣言下での開催となり、入園者数については伸び悩んだが、公園内をゆっくりと散策していただける花いっぱいの屋外空間の演出を行うことで、コロナ禍でも公園の利用促進を図ることができた。</p>
<p>・公園関連事業 【継続】 沖縄国際洋蘭博覧会</p> <p>海洋博公園の利用促進や満足度向上、公園内施設の利活用を図ることを目的に、沖縄国際洋蘭博覧会等の国際規模行事実施の協力を行う。加えて、実施協力により、冬季の沖縄の観光振興へ貢献する。 H31年度は、アジア・太平洋地域及び国営公園管理業務受託者との連携の下、熱帯ドリームセンターで行われる国際規模のラン展示会開催に協力する。</p>	○	<p>令和2年度の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和3年11月に延期した。 代替イベントとして秋のラン展示を開催し、44名1団体から202株の出展があり、2,663名が参加した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・代替イベントは良好に実施できている。 出展株についてカテゴリー別に展示し、来場者による人気投票を実施した。規模は小さくなるが、受賞者からは励みになるなどと好評だった。</p>
<p>・公園関連事業 【継続】 植物等に関する展示協力</p> <p>熱帯ドリームセンター等の利用促進、魅力向上を図ることを目的に、国営公園管理業務受託者と連携して緑や花のイベントを開催する。</p>	○	<p>①熱帯の不思議な種子と果実展示 令和2年8月1日～9月27日 熱帯果実、種子の持つ特徴を、熱帯果樹や種子コレクションなどの実物とともに解説パネルで紹介した。</p> <p>②ブーゲンビリア・ハイビスカス特別展示 令和2年10月31日12月27日 ブーゲンビリア52品種・724鉢、ハイビスカス45品種・245鉢を展示した。 参加者は20,273人だった。</p> <p>③チューリップ特別展示 令和3年2月6日～令和3年2月14日 多種多様なチューリップ23品種80,000本を展示し、5,620名が参加した。 公募に応じた一般市民が「鉢植ボランティア」として植えた、鉢植のチューリップも展示した。</p> <p>④ツバキ展 令和3年2月11日～14日の4日間実施し、3,413人の来場者があった。沖縄椿協会会員の方々が丹精込めて育てたツバキ59点と、(一財)沖縄美ら島財団所有のツバキ60点、合計65品種119点を一堂に集めて展示した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施できている。 3年連続で結実したドリアンを目玉に、マンゴーやカカオなど熱帯の果樹を紹介した。世界一大きなタネであるフタゴヤシやライオンゴロンなど110種の種子を「飛ぶ」、「くっつく」、「流れる」など散布様式別に展示した。</p> <p>・良好に実施できている。 伊江村と連携し、伊江島ハイビスカス園のオリジナル品種を借用し展示した。 ブーゲンビリアとハイビスカスの苗木を期間中の土日祝日に無料配布した。</p> <p>・良好に実施できている。 本部町と連携し、さくら祭り会場や本部町かりゆし市場にPRブースを設置し広報した。FMもとぶのラジオ番組に出演しPRを行った。</p> <p>・良好に実施できている。 苗木の無料配布やツバキ油搾り体験は人気が高かったため、次年度は配布数や定員が増やせるようにしたい。</p>

<p>・公園関連事業 【継続】 緑化等に関する講習会</p> <p>熱帯・亜熱帯都市緑化植物園等の利用促進や都市緑化の普及啓発を目的に、沖縄における最新の緑化事例や緑化技術等の発表の場を設ける。</p>	○	<p>毎年10月に開催される沖縄都市緑化月間行事の一環として、「亜熱帯緑化事例発表会」を10月23日(金)に実施した(当財団が実施部会事務局)。今年度は、一般公募により応募のあった緑化事例に関する発表4件、緑化技術に関する発表1件の発表を行い、審査により、最優秀賞1件、優秀賞2件を選出した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施できている。今後、発表者の確保のため、県内の緑化事例の情報収集を継続して行うとともに、沖縄都市緑化実行委員会事務局である県土木建築部都市公園課や沖縄都市緑化祭開催担当市町村等、関係団体との連携及び募集方法を検討し強化する必要がある。</p>
<p>公園関連事業 【継続】 やんばる環境学習等の実施</p>	○	<p>①こども環境調査隊(タイムズと連携) ・新型コロナウイルス感染拡大により、全行程を中止した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書で計画されていたが、新型コロナウイルス感染拡大により事業中止となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。 【外部評価委員コメント】 県内の小中学生が、視察や体験学習、研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について学ぶ機会を得る、評価の高い事業である。(評価:A)</p>
	○	<p>②新報サイエンスクラブ(新報と連携) ・新型コロナウイルス感染拡大により、全行程を中止し、事業自体も終了となった。 ・過去10年間に採択された研究者数名と審査員のコメントを集めた振り返り紙面を掲載した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書で計画されていたが、新型コロナウイルス感染拡大により事業中止となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止となった。 【外部評価委員コメント】 県内の小中学生が、視察や体験学習、研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について学ぶ機会を得る、評価の高い事業である。(評価:A)</p>
	○	<p>③やんばる環境学習 上本部学園の3学年を対象とした通年学習を試行・継続した。小学校4年生、5年生を対象に、それぞれ「地域の農業」「淡水の生き物と環境」をテーマにした学習を開始した。併せて中学校3年生を対象に、園内各施設における体験学習を通してインタビュー学習を継続。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度対応学年を中学3年から2年に変更し、実施した。いずれも総合的学習の時間の授業に組み込み実施した。また、県内小中高校に対し出前授業を行った。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 沖縄で最も大切なことは地域資源の開発と文化の伝承である。本土との均一化が進む中、沖縄人が歩んでいくべき道を考え始めてもいだろう。(評価:A)</p>
	○	<p>④教室講師等の派遣 ・県内外の地域自治体、団体などから依頼を受け、21件の講師派遣依頼に対応した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、上半期は依頼が減少した。下半期にかけ、ガイドラインに基づいた依頼が増えたほか、オンラインでの開催など、従来と異なる手法での対応が増加した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 財団が有する研究共同体で、地域連携を目的として、外部団体が主催する事業や講演などへの協力依頼について対応している社会貢献性の高い事業である。今後も積極的な協力・提供を期待する。(評価:B)</p>
	○	<p>⑤外部団体からの協力依頼 各種講習会展示会等の開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、教育イベント等の開催が延期または中止となった。 ・外部団体が主催するオンライン講義等の講師として、総合研究センター職員が対応した。</p>	<p>・月報で実施状況を確認した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施できている。 【外部評価委員コメント】 財団が有する研究共同体で、地域連携を目的として、外部団体が主催する事業や講演などへの協力依頼について対応している社会貢献性の高い事業である。今後も積極的な協力・提供を期待する。(評価:B)</p>

○	<p>⑥県内大学等連携寄附講座(公園関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、名桜大学での開講は延期となった。琉球大学では遠隔講義に切り替え、R2.5月～8月の前期日程において開講した。実施回数は13回、うち12回で財団職員が講師を務めた。内容は沖縄の動植物や自然環境、琉球の歴史文化、財団の取り組みや公園管理に関する解説を行った。登録者数は琉球大学62名であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月報で実施状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 財団の亜熱帯性動植物および歴史文化に関する調査研究・技術開発等の成果を寄付講座として提供するもので、実際の講義内容であり、大学講義の幅を広げている。今後も内容の充実と継続を期待する。(評価:B)</p>
○	<p>⑦指導者育成事業(公園関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、一般から参加者を公募しての開催は中止し、職員向けの技術向上を目的とした事業を実施した。 ・有孔虫勉強会 館内で有孔虫を用いた工作教室を実施するにあたり、知識の共有を目的に魚類課 解説員に向けて「有孔虫勉強会」を行った ・海洋博公園内海岸生物調査総合研究センターが実施している「海洋博公園内海岸生物調査」に魚類課 解説員を同行した。館内で展示している生物が野外ではどのような環境で生息しているかを重点的に観察した。 ・実施結果は、館内でのタッチプール等の解説等に活かされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月報で実施状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 財団内の職員の学習会に関しては、成功裏に行われたようである。地域の自然について学ぶ機会を得る、評価の高い事業である。(評価:A)</p>
○	<p>⑧総合研究センター事業年報の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31年度事業の成果をとりまとめ、HP上にて公表を行った。 ・今年度より印刷物の発刊を中止し、PDFデータによる掲載に手法変更した。 ・R2年度の事業成果については、3月で執筆を依頼。各担当者で原稿の執筆を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月報で実施状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書の通り適切に実施されている。 	<p>良好に実施できている。</p>
○	<p>⑨調査研究・技術開発研究助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、通常の調査研究・活動等の実施が困難であることから、新規公募を中止した。 ・過年度助成対象者の対応については、遅延申請7件、更申請1件・完了報告6件について対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月報で実施状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響はあるものの、業務計画書の通り適切に実施されている。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありながら、良好に実施できている。</p> <p>【外部評価委員コメント】 亜熱帯性動植物や沖縄の歴史文化等に関する調査研究・技術開発、普及啓発活動に取り組む個人・団体を対象に公募、活動の助成を行うもので、調査研究の育成、社会貢献性が高い。 今後も発展、継続を期待する。(評価:A)</p>

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

<p>2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント・プログラムの中止はあったものの、実施できる事業については、感染症防止対策を講じながら、概ね良好に実施できている。 ・コロナ禍におけるオンラインイベントなど誘客促進の強化が必要。
--------------------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	平成31年評価	令和2年目標	令和2年評価			
維持管理業務 施設・設備管理 (建物管理・清楚・植物管理)	S (98.9%)	—	<p>【施設の芝生・草花や植栽の手入れについて】</p> <p><満足度>99.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足71.9% ・どちらかという満足27.4% ・どちらかという不満0.5% ・不満0.2% <p>【建物・設備の管理、衛生・清掃状態について】</p> <p><満足度>99.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足72.8% ・どちらかという満足26.4% ・どちらかという不満0.7% ・不満0.1% <p><改善要望></p>	S (99.3%)	<p>業務計画に基づく植物管理を適正に行ったほか、水族館周辺で設置・花の入れ替え等維持管理している海の生き物の立体造形花壇等について、公園内で実施された「美ら海花まつり」と連動し、水族館までの園路導線にも設置することで、色鮮やかな花修景を創出し、水族館利用者の期待感を高める演出を行った。</p>	<p>良好に実施できたことから、引き続き適切な維持管理を行い、利用者の満足度向上に努める。</p>
施設・設備管理 (水族館の展示内容)	S (98.6%)	—	<p>【生き物の展示について】</p> <p><満足度>99%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足58.9% ・どちらかという満足40.1% ・どちらかという不満1.0% ・不満0% <p>【水族館内のショーや解説について】</p> <p><満足度>83%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足33.2% ・どちらかという満足49.8% ・どちらかという不満15.8% ・不満1.2% <p>【オキちゃん劇場等のショーについて】</p> <p><満足度>96.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足80.4% ・どちらかという満足15.7% ・どちらかという不満3.1% ・不満0.8% <p><改善要望></p>	S (92.7%)	<p>ジンベエザメやナンヨウマンタ、世界唯一となるヒメイトマキエイやオニイトマキエイ、新種アカタマガシラなど、貴重種の展示を行った。海獣施設においても、国内唯一の展示種であるミナミバンドウイルカやシロハイルカ、ウミガメ類、アメリカマナティーの飼育展示を行った。</p>	<p>良好に実施できた。今後もより良い展示内容を継続するため、新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で、新規展示に取り組み、満足度向上に努める。</p>

運營業務	接客対応	S (99.2%)	—	<p>【スタッフの対応について】 <満足度>97.8% ・満足62.8% ・やや満足35% ・やや不満2% ・不満0.2%</p>	S (97.8%)	<p>接遇研修、安全教育を実施し多様なニーズにこたえられるよう、スタッフの技術・資質の向上に取り組んだ。良好に実施できた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策に取組みながら、満足度の向上に努める。</p>
				<p><改善要望></p>			
施設・設備 (売店、スナック、レストラン等)		S (97.6%)	—	<p>【カフェ・レストランについて】 <満足度>95% ・満足76.8% ・どちらかという満足18.2% ・どちらかという不満4.2% ・不満0.8%</p>	S (96.2%)	<p>カフェ・レストランでは、地元ブランド豚肉「本部町あぐ〜」を使用した新メニューや県内外に人気の高い沖縄料理等を中心に提供した。また、ショップ・売店では、ショップブルーマンタの美ら海プラザ内への移設による店舗面積の拡大や展示生物(ジンベエ、マンタ等)に因んだオリジナル商品を中心に販売したことが高評価に繋がったものと考えられる。</p>	<p>良好に実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大防止策に取組みながら、カフェ・レストランでは、地域と連携しながら、新たな食材を使用した新メニューの開発、提供を行い、満足度及び収益の向上に努める。また、ショップ・売店では、今後も水族館オリジナル商品の充実に努めるとともに、あらたに開設したオンラインショップ(ECサイト)を活用した販促活動を行い、満足度及び収益の向上に努める。飲食施設の改善要望については、多客時において美ら海プラザ周辺にキッチンカー等を出店し、飲食販売を行うことで要望に応えられるよう取り組む。</p>
				<p>【ショップ・売店について】 <満足度>94.9% ・満足66.5% ・どちらかという満足28.4% ・どちらかという不満4.7% ・不満0.4%</p>			
利用条件 (入館料金)		—	—	<p>【水族館入館料金】 <満足度></p>	—	<p>入場料承認申請、減免規程等に基づき、適正に実施した。</p>	<p>今後も継続的に来園者のニーズを収集しながら、施設の管理運営に活かすこととする。</p>
				<p><改善要望></p>			
教室・プログラム		S (95.8%)	—	<p>【美ら海オトナ塾「ここまで分かった！ウミガメの繁殖メカニズム」】 <満足度>100% ・満足82% ・やや満足18% ・普通0% ・やや不満0% ・不満0%</p>	S (100%)	<p>18歳以上の大人を対象とした年パス会員イベントとし、昨年度とはテーマを変更して開催し、海洋生物の知識の普及や調査研究成果を発信した。サメやウミガメなど、人気の生き物をテーマに採用したことで、参加者から深い興味が得られた。結果満足度4.8(5点満点)の高い評価を得ることができた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んだ上で、良好に実施できた。対象年齢が18歳以上と言うこともあり、参加者から、普段の展示では知り得ない詳細な生態情報や研究成果など、大学の講義のようなコアな大人向けの内容が良かったと好評を得たことから、次年度は、アンケート結果を参考に要望に沿えるよう、新規プログラムの開発に努める。</p>
				<p>【美ら海オトナ塾「水族館の技術を世界に！ジンベエザメの研究最前線」】 <満足度>100% ・満足90% ・やや満足10% ・やや不満0%</p>			

自主事業	—	—	—	—	—	—
			〈改善要望〉			
総合評価 (各評価項目の平均)	S (98.3%)	—	〈満足度〉 96.3%	評価 (②満足度) S	全体的に高評価であり、今後も適切な維持管理・運営業務に努める。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による営業時間の短縮などが前年度より2%減となったが、今後も継続的に来園者のニーズを収集しながら、施設の管理運営に活かしていく。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> サービスに対するお客様の満足度(満足+どちらかというとやや満足)は全項目で90%を超えており高い評価を得られた。 新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んだ上で、飼育生物に関連したプログラムや飲食施設の要望に対応できるよう取組を進めていく。
------------------------	---

※「II. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目	令和元年度 実績	事業計画	事業計画 (補正予算)	令和2年度 実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
利用料金収入	入場料収入	4,299,207,090	4,839,588,000	893,723,000	667,075,740	15.5%	74.6%	10月から12月にかけては、Go Toトラベル事業での観光喚起により、入場者数が目標値の+15ポイントとなり、それに伴い入場料収入が上向いたものの、1年を通して、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人旅行・団体旅行自粛や修学旅行のキャンセル・延期が相次ぎ、対計画比△25ポイントとなった。
	売店等収入	3,492,944,732	4,337,949,000	542,589,000	580,996,820	16.6%	107.1%	入場料収入同様に、Go Toトラベル事業における入場者数の増加傾向により、売店収入が増加した。また、補正予算編成の際にはまだ見込めなかったイルカなどの給餌体験やバックヤードツアーなど新たな有料プログラムの実施により、通年で対計画比+7ポイントとなった。
計	7,792,151,822	9,177,537,000	1,436,312,000	1,248,072,560	16.0%	86.9%		
指定管理料等	118,910,920	0	0	1,135,607,318	955.0%	#DIV/0!	大規模修繕費用相当分の収入(747.3百万円)、施設管理運営維持に係る補助金(388.3百万円)	
雑収入	雑収入	20,849,166	0	0	351,689,464	1686.8%	#DIV/0!	新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金(76.9百万円)、消費税還付(97百万円)、養老保険解約返戻金(172百万円)、那覇空港の魚類展示水槽設備日常管理費(1.9M)等
	計	20,849,166	0	0	351,689,464	1686.8%	#DIV/0!	
合計(A)	7,931,911,908	9,177,537,000	1,436,312,000	2,735,369,342	34.5%	190.4%		
(現状分析・課題)								
<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は、Go Toトラベル事業での観光喚起により、10月から12月にかけては回復の傾向が見受けられたが、度重なる新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通年では事業計画を下回る結果となった。 ・収入を確保するため、イルカなどの給餌体験の販売数の増加や、新規事業として有料のバックヤードツアーやオンラインツアー等新規の取組により年間200万円を超える収入を確保している。 ・コロナ禍で制約はあるが、来期もこのような取組を増やし、収入の確保に努めていきたい。 ・事業計画では入場料収入に対して売店等収入は89%を見込んでいたが、実績では入場料収入に対して87%となっている。給餌体験等の新しい試みがありながら、相対的に売店等収入が伸び悩んだのは旅行等の外出が憚られる雰囲気があり、その中でお土産等への支出が多い県外観光客の利用が減少し、お土産等への支出が少ない県民利用が増加した事が要因のひとつと考えられる。 ・外出を控える雰囲気がしばらく続くことが想定されるため、水族館のコアなファンに向けた商品の開発等により収入増に努めていきたい。 								

(2) 支出

支出項目	令和元年度 実績	事業計画	事業計画 (補正予算)	令和2年度 実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
売上原価	5,736,116,233	6,460,020,000	3,404,468,000	3,099,092,164	54.0%	91.0%	
<施設維持管理>	933,441,556	1,044,816,000	1,032,174,000	851,090,154	91.2%	82.5%	
修繕費	23,632,925	27,950,000	22,278,000	11,904,852	50.4%	53.4%	故障等や経年劣化による交換等を実施せず済んだため減。緊急でないものについては実施を止め、法定点検等については、適切に実施している。
清掃費	170,813,764	173,900,000	173,900,000	142,904,990	83.7%	82.2%	
植物管理費	74,390,172	78,280,000	68,280,000	51,865,677	69.7%	76.0%	美ら海花まつりに設置する造形花壇の見直しによる減
動物管理費	151,074,051	161,492,000	161,069,000	120,133,433	79.5%	74.6%	餌料を付近の漁業者などから仕入れたり、疾病の早期発見による薬品費の減に努めた。餌料の栄養価は冷凍のものよりあり品質に問題はないとのことであった。また、健康に関する検査については、予防効果が有る為継続して実施している。
建物維持管理費	429,370,079	471,523,000	446,523,000	363,585,271	84.7%	81.4%	休業への協力による優先順位を勘案した業務縮減
その他	84,160,565	131,671,000	160,124,000	160,695,931	190.9%	100.4%	増加の要因はR2年度より、旧特定公園施設会計の資産を水族館会計に振替えたことにより減価償却費52百万円が増加。支払利息(2か月分)
<利用者サービス等>	1,827,071,468	1,746,547,000	1,305,724,000	1,287,940,917	70.5%	98.6%	
人件費	1,200,108,091	1,196,758,000	943,345,000	964,535,799	80.4%	102.2%	財団全体で退職者が78名。採用が13名。不足分は派遣職員に頼っている現状である(委託費に計上)。
印刷製本費	51,813,247	147,236,000	52,583,000	17,164,723	33.1%	32.6%	売上減に伴う、入館券・商品袋・パンフレット類の印刷減。未使用の入館券等はB/Sの貯蔵品(在庫)に計上。(3月末の貯蔵品(在庫)は96.8百万円(前期末比+52百万円)と増加しており、在庫管理の重要性が高まっている。発注にあたり、経済的な発注量の算定が必要である
利用者サービス費	188,393,481	201,540,000	150,013,000	131,761,473	69.9%	87.8%	臨時休場や入場者数減に伴う人員配置の見直しによる減
賃借料	31,298,729	35,171,000	29,725,000	33,918,684	108.4%	114.1%	保有車両は7台。購入予定の車両1台を、リース(年間料金50万円)とした。リース満期の車両を再リースし、減価償却費からリース料金へ変更となった分3百万円はリース料金の増加として計上。
委託費	354,434,063	160,842,000	129,958,000	140,223,867	39.6%	107.9%	欠員補充ため人材派遣の経費が増となった。派遣会社とは年間の単価契約を締結し、コスト抑えている。年間の派遣会社への支払額は34百万円
その他	1,023,857	5,000,000	100,000	336,371	32.9%	336.4%	商品開発費用が予定より増となったため
<広告宣伝>	186,356,286	197,273,000	82,982,000	41,908,958	22.5%	50.5%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント自体の減少および、県外・国外への広告は取り止めた、県外・海外へのプロモーションについては中止した。
<商品仕入れ>	1,721,123,583	2,201,972,000	273,498,000	303,539,239	17.6%	111.0%	収入増に伴う商品仕入れの増
<光熱水費・雑費等>	1,068,123,340	1,269,412,000	710,090,000	614,612,896	57.5%	86.6%	電気料金の減

2	調査費	190,606,015	178,824,000	131,381,000	132,277,288	69.4%	100.7%	内部の人員で可能な事業に限定している。調査費の内訳として、委託費が2.4百万円計上されているが、内容としては英文論文の校正業務、定置網を利用した生物相調査業務等の代替不可であり必要な業務に限定されている。
3	販売費及び一般管理費	255,529,781	247,055,000	212,975,000	190,433,621	74.5%	89.4%	財団の法人会計からの配賦額を計上。配賦基準は人数比で行われているが、法人移行にあたり沖縄県に申請した内容で、沖縄県の認定委員会で承認されている。財団の決算書において共通経費の配賦は従事割合で行っていることから、人数比という配賦基準は妥当と判断する。R2年度の配賦額については、財団全体の組織図、人員明細、法人会計管理費配賦内訳の資料で適切に配分されていることを確認。
4	県への固定納付金	1,409,060,000	1,409,150,000	1,403,006,000	388,340,340	27.6%	27.7%	
	<国有財産使用料>	497,060,000	497,150,000	491,006,000	326,340,340	65.7%	66.5%	
	<大規模修繕費等>	850,000,000	850,000,000	850,000,000	0	0.0%	0.0%	
	<県職員人件費>	42,000,000	42,000,000	42,000,000	42,000,000	100.0%	100.0%	
	<県モニタリング費>	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	100.0%	100.0%	
5	大規模修繕費用	118,910,920	0	0	747,266,978	628.4%	#DIV/0!	
	小計	7,710,222,949	8,295,049,000	5,151,830,000	4,557,410,391	59.1%	88.5%	
	公園関連事業	189,332,653	259,981,000	107,485,000	95,499,052	50.4%	88.8%	事業の効率化及び一部事業の実施繰り下げによる減等。令和2年度上半期モニタリングで、個々の案件ごとの予算が明確になっておらず、予算対比が実施できていない旨の指摘を行ったが、今回個別の事業毎に予算計上額と執行額の増減比較を行っていることを「R2年度関連事業実施計画」で確認した。予定していた実施事業のうち、一部事業を繰り下げにしているが、中止の意思決定は財団内稟議書にて決裁を行っていることを確認。なお、共同研究については、共同研究中止の覚書を締結していることを確認。 ・普及啓発イベントについては、コロナ禍の為実施せず、普及啓発関連の公園関連事業費は発生していない。 ・延期の可否の判断については、規約の縛りや、対象が植物という特性上、継続が必要な事業を厳選して実施した。公園内に自生する野生の蘭は希少種として認められるものであり必要不可欠と判断した。 基本的に内部の人員で実施できるものに限定した。
	歩合納付金A	75,000,000	126,015,000	0	0	0.0%	#DIV/0!	
	歩合納付金B	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計(B)	7,974,555,602	8,681,045,000	5,259,315,000	4,652,909,443	58.3%	88.5%	

(現状分析・課題)
利用料金収入の減を見込み、印刷製本費や広告宣伝費の支出を抑え、対計画比で、収入140.8%に対し、支出は74.8%と下回ったが、固定費の中で、施設維持管理費や公園関連事業費は抑えたが、人件費や賃借料は対計画比で増となった。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	令和元年度実績	事業計画	事業計画(補正予算)	令和2年度実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	△ 42,643,694	496,492,000	△ 3,823,003,000	△ 1,917,540,101	-	-	
収益率 (事業収支(C)/収入(A))	-0.5%	5.4%	-266.2%	-70.1%	-	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	98%	100%	100%	45.6%	46%	45.6%	雇用調整助成金や保険解約等の一過性の収入を除外すると利用料金収入の収入に対する比率は74.5%となる。一過性の収入以外の安定的な収入確保のため、WEBを使ったツアー、オンラインショップ等の活用が重要となると考える。
人件費比率 (人件費/支出(B))	15.0%	13.8%	17.9%	20.7%	138%	115.6%	人件費(給与手当、賃金、賞与引当金繰入額、退職給付費用、福利厚生費) →当期は支出を抑制したこと、及び退職者の増加による退職金の支出もあったため、相対的に支出に対する人件費の比率が高くなったといえる。雇用調整助成金により雇用を維持できたといえるが、77百万円の雇用調整助成金の影響を除くと人件費の支出に対する割合は22.6%となりH31年度の実績に対しても、事業計画に対して10%近く高い比率となる。R3年度に来場者数が増加するまでの人件費のコントロールが課題となると考える。
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	(1,362,642,824) 17.1%	-	-	(1,615,104,308) 34.7%	118.5%	-	事業計画には外部委託内訳額は無し 令和2年度実績外部委託比率は再委託申請を行った業務の実績を記載
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	3,320,218人 2,402	3,690,000人 2,353	720,000人 7,305	602,503人 7,723	18.1%	83.7%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料等/利用者数)	0 0	0 0	0 0	388,340,340 645	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理施設の管理運営継続に支障が生じた指定管理者を支援するため、大規模修繕費を除く固定納付金相当額を補助金として交付。 国有財産使用料相当額 326,340,340円 県職員人件費相当額 42,000,000円 モニタリング費用相当額 20,000,000円

・指定管理料及び雑収入の大幅な増加により、利用料金比率より収益率が上回った。
・計画値における収益率は低いものの利用者あたり管理コストは若干抑えることができた。
・入場料収入以外での更なる利益増と人件費など大幅な支出の削減が必要。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)

-

【評価基準(③財務状況)】
収益率(事業収支/収入合計)
A: 0%以上
B: -5%以上、0%未満
C: -5%未満

III. サービスの安定性評価(財務状況)取組改善案	<p>・コロナ禍において入館者数が目標値を下回ったことで、収入を確保することができず、収支も計画を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染拡大の収束については、予測が困難なため、更なる経費削減を行い、収支の改善に努める。</p> <p>・当該項目については、新型コロナウイルスの影響による外的要因が非常に大きかったと考えられる。指定管理者としては、施設維持のため借入れを行い、収入増のため新規事業の実施とともに一部事業の実施繰り下げによる収支悪化に対応する取り組みを行っている。そのため、従来どおりの評価が困難なことから、評価を実施しないこととした。</p>
----------------------------	--

※「III. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものなのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがゆかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料等／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	α+1年	α+2年	α+3年	α+4年	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	—	—	—	—
	②満足度	満足度	—	—	—	—
財務指標	③財務状況	収益率	—	—	—	—

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和元年実績	事業計画(目標値)	令和2年実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和3年目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	3,320,018	720,000	602,503	18.1%	83.7%	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下方修正したが、幾度かの国の緊急事態宣言・沖縄県独自の緊急事態宣言・緊急特別対策等で、入場者数は事業計画に対して83.7%にとどまった。 ・ただし上述の計90日間の臨時休場を除いた稼働率(計画比)は100%である。	—	・国及び県の新型コロナウイルス感染症に関する方針等に沿って、感染症対策に取組む。 ・入場者数の確保についても、国・県の施策と並行した事業を展開する。 ・当該項目については、新型コロナウイルスの影響による外的要因が非常に大きかったと考えられる。そのため、従来どおりの評価が困難なことから、評価を実施しないこととした。	1,660,000
	②満足度	満足度	98.3%	—	96.3%	—	—	今後も継続的に来園者のニーズを収集しながら、施設の管理運営に活かすこととする。	S	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んだ上で、飼育生物に関連したプログラムや飲食施設の要望に対応できるよう取組を進めていく。	
財務指標	③財務状況	収益率	-0.5%	-266.2%	-70.1%	—	—	新型コロナウイルスによる入園者の減少に伴う入園料収入等の減少といった外的要因の影響が非常に大きかったと考えられる。しかしながら、印刷製本費や広告宣伝費の支出を抑え、対計画比で、収入190.4%に対し、支出は88.5%と下回っており、指定管理者としても収入増・支出削減に取り組んでいる。固定費の中で、施設維持管理費や公園関連事業費は抑えたが、人件費や賃借料は対計画比で増となった。	—	・外的要因により入場者数を確保することができず、計画を大幅に下回る収支となった。新型コロナウイルス感染症拡大の収束については、予測が困難であるため、更なる経費縮減を行い、収支の改善に努める。 ・当該項目については、新型コロナウイルスの影響による外的要因が非常に大きかったと考えられる。指定管理者としては、施設維持のため借り入れを行い、収入増のため新規事業の実施とともに一部事業の実施繰り下げによる収支悪化に対応する取り組みを行っている。そのため、従来どおりの評価が困難なことから、評価を実施しないこととした。	
活動指標	④重点取組事項	体験プログラムの充実(海獣施設)	55,770人	—	47,593人	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の体験プログラムを中止したが、新たに12月よりイルカフォトサービスを開始した。	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した、体験プログラムを実施し、参加者数の増加を図る。	

総合評価	—
------	---

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

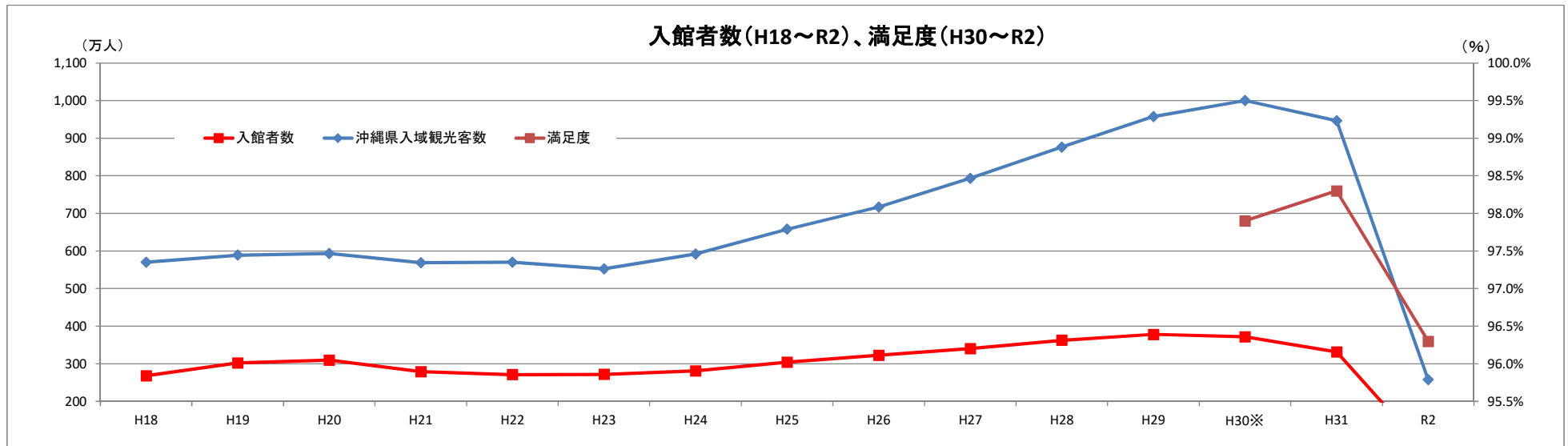
	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称: 沖縄県国営沖縄記念公園内施設(海洋博地区内施設)】

指標		単位	国管理													沖縄県指定管理					
			H15	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30※	H31	R2	R3	R4	
成果指標	入館者数	目標	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,640,000	720,000		
		実績	人	2,487,500	2,684,832	3,023,328	3,100,730	2,790,649	2,715,090	2,720,887	2,811,480	3,043,776	3,230,468	3,408,521	3,628,332	3,784,132	3,718,446	3,320,018	602,503		
		目標比	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91%	84%		
		H15比	%	100%	108%	122%	125%	112%	109%	109%	113%	122%	130%	137%	146%	152%	149%	133%	24%		
	満足度	実績	%													97.9%	98.3%	96%			
財務指標	指定管理料等	千円														13,648	118,911	1,135,607			
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%														1.0%	1.5%	24.4%			
	利用料金収入	千円														1,412,720	7,792,152	1,248,073			
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%														99.0%	98.2%	45.6%			
	収入計	千円														1,427,027	7,931,912	2,735,369			
	管理費計	千円														1,314,075	7,974,556	4,652,909			
	収支	千円														112,952	-42,644	-1,917,540			
	収益率(収支/収入計)	%														7.9%	-0.5%	-70.1%			
	/単位	一人あたり管理コスト	円													353	2,402	7,723			
		一人あたり指定管理料	円													4	36	1885			
	一人あたり利用料金収入	円													380	2,347	2,071				
参考値	沖縄県入域観光客数	人	5,129,700	5,705,100	5,892,300	5,934,300	5,690,000	5,705,300	5,528,000	5,924,700	6,580,300	7,169,900	7,936,300	8,769,200	9,579,900	10,004,300	9,469,200	2,583,600			

県への管理移管(H31.2)以前の
データ無し

※沖縄県による管理が平成31年2月から開始されたため、入館者数以外については、2ヶ月分の結果となっている。管理以前の入館者数については、国営沖縄記念公園事務所パンフレット参照



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

H29年度	
H28年度	
H27年度	
H26年度	

目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方などを記載

H30年度	
H31年度	
H32年度	
H33年度	